



003号(2011年1月15日)

## 目次

国際大会に参加して  
『授業づくりネットワーク』で  
協同学習が特集されました  
第8回日本協同教育学会  
全国大会のご案内  
出版情報  
本年度ワークショップ

## 国際協同教育学会に参加して

2010年11月25日から27日までオーストラリア・ブリスベンの広大なクィーンズランド大学で開催された国際協同教育学会ブリスベン大会に参加してまいりました。ホスピタリティにあふれた運営チームによって、温かい雰囲気の中、効率よく運営された学会でした。世界の22カ国からの参加があり、様々なお国なまりの英語が飛び交う国際色豊かな大会でした。

25日、26日の大会ではケーガンやシャランなど協同学習の大御所のワークショップを始め、さまざまな研究発表、ラウンドテーブル、ディスカッションなどが行われました。日本からも5件の発表がありました。

24日のカクテルパーティ、26日の学会主催ディナーでは、参加者がすぐに打ち解け、笑顔があふれ、さすが、協同の精神にあふれる人たちの集まりの学会パーティという感じでした。日本からももっと多くの方が、この楽しい学会に参加できればよかったのという思いを胸に帰国しました。

私は新任理事として24日の理事会に参加し、各国からの理事の方々とお会いしました。JASCEを代表しての理事ということで、日本と世界の協同教育学会をつなぐ架け橋となるよう努力していきたいという思いを強くいたしました。特に、日本の協同学習の状況を世界へ発信すること、国際協同教育学会からの情報を日本の皆様にお伝えすることを、まずは私の仕事としていこうと思っております。

立教大学 伏野久美子  
(国際協同教育学会理事)

## 『授業づくりネットワーク』で協同学習が特集されました

小中学校の教員向け教育雑誌『授業づくりネットワーク』(学事出版)の2010年12月号に「協同学習のすすめ」という特集が組まれました。その冒頭、中京大学の杉江修治先生(本会理事)へのインタビューが掲載されています。そこでは協同学習、特にジョンソンたちの『学習の輪』について、非常に明快に深い内容が語られています。また、特集では他に、佐藤学氏の「学びの共同体」や西川純氏の「学び合い」、そして「バズ学習」など、それぞれの特徴を解説した小論文もあり、全体として興味深い特集になっています。なお、同誌では今春の特集企画「総力特集・活動中心の授業をつくる!」の中でも、協同学習について取り上げるそうです。

メールアドレス 事務局のメールアドレスはoffice@jasce.jpです。機関誌への論文投稿は編集委員会までご連絡ください。編集委員会のメールアドレスはeditor@jasce.jpです。

# JASCE

## 第8回日本協同教育学会全国大会のご案内

本年10月1日、2日の両日、千葉大学において第8回日本協同教育学会全国大会が開催されます。大会発表者の募集やプログラムの詳細は、順次、本会のホームページに掲載して参ります。

### ●大会実行委員長あいさつ

会員の皆様、明けましておめでとうございます。

PISA2009の結果が発表され、日本の子どもたちの読解力のランキングは若干の回復傾向が見られました。しかし、単一の尺度では測りきれないいくつかの問題が存在しており、とりわけ成績下位層の子ども割合の多さを直視する必要があります。

あると思われまふ。「共に伸びる教育の実践」に向けて、それぞれの立場で一層の努力をしていかねばなりません。

さて、平成23年度の協同教育学会年次大会を、千葉大学を中心とした千葉県でお引き受けさせていただきます。関東では久しぶりの開催と伺っておりますが、多くの皆様のご参加とご協力を支えに精いっぱい努めさせていただきます。どうぞよろしくお願ひいたします。

千葉大会では、大会企画として、千葉県立千葉中学校の研究発表会の様子を参観していただく予定です。千葉県立千葉中学校は、県立中・高一貫校として平成

20年度にスタートした若い学校です。

創立以来、「千葉から、日本でそして世界で活躍する心豊かな次代のリーダーの育成」を目標に掲げ、特色ある教育を展開してきました。大会日程の中で、平成23年度前期の活動の成果発表にお立ち会ひいただき、その後のディスカッションへとつなげてまいりますので、どうぞご期待ください。

平成23年10月1～2日、皆様のお越しをお待ちしております。

日本協同教育学会

千葉大会実行委員長

上杉 賢士(千葉大学)

### ●出版情報



ナカニシヤ出版から、古庄高著『アドラー心理学による教育 ― 子どもを勇気づけるポジティブ・ディ

シプリン』が出版されました(価格は2000円+税)。4章構成の前半2章では、「共同体感覚」などアドラー心理学の考え方やキーワードが簡明に説明されています。後半2章では幼児教育や学校教育へのアドラー心理学からの考察や提案がなされています。特に第4章では協同学習の重要性にも論究されています。協同学習が単なる指導技法ではなく、人間の成長に欠かせない「協同」を涵養する教育的アプローチであることに、改めて気づかせてくれる良著です。古庄先

生はJASCEの会員として、JASCE全国大会の自主シンポで、アドラー心理学と協同学習の繋がりについて、2008年、2009年と続けて話題提供されてきました。その折のお話も、本書から体系的に学ぶことができます。

### ●ワークショップ申込み受付中

ホームページ([www.jasce.jp](http://www.jasce.jp))からお申し込みください。

○ベーシック(2月26、27日)

○アドバンス(4月30日、5月1日)

※ともに会場は創価大学